

広報筑西 No.35 CHIKUSEI CITY PUBLIC INFORMATION ピープル

People

9.1
2006

Contents

- 小貝川大水害から20年… 2
- 筑西あらかると…………… 8
- 市民記者のページ…………… 13
- お知らせ…………… 14

夏物語

筑西市

勤行川

灯籠流し

とうろうながし

川面にたゆとうともし火

大正12年の関東大震災による犠牲者の供養のために始まった勤行川の『灯籠流し』。震災から83年目を迎える今年は、8月5日に開催され、平和への願いが込められた数千の灯籠が川面に浮かび、幽玄の世界を演出していました。



昭和61年8月4日 『台風10号』による

小貝川大水害から20年

昭和61年8月の小貝川大洪水から今年で20年。150年に一度の大洪水といわれ、その被害は、旧下館市の面積の4分の1を冠水させ、下流の旧明野町でも谷原、大林地区など小貝川沿いの地域を泥水の海に変えました。かつて経験したことのない大きな被害に私たちは改めて自然の猛威を思い知らされました。20年の節目を迎え、当時の被害の状況と復興のあゆみを振り返ります。

7月31日、フィリピン東海上で発生した台風10号は980hPaという大きな勢力を保ったまま関東に上陸、8月4日、私たちの住む筑西市を直撃しました。昼ごろから降り始めた雨は、わずか24時間で300ミリを超える雨量を記録しました。雨量レーダーによれば、小貝川流域の上空の雨雲が約6

時間にわたって、ほとんど動かなくなつたという記録が残されています。

この大雨によって、小貝川の水位はみるみる上昇し、堤防をつくる際の基準となる計画水位を、ほぼ全川にわたって越え、濁流となり、辺りを泥の海へと変えていきました。

小貝川の越水は上流部の無堤部分からはじまり、旧下館市の約4分の1を冠水させました。特に小貝川と勤行川、小貝川と大谷川とが合流する地域では大きな被害を受けました。

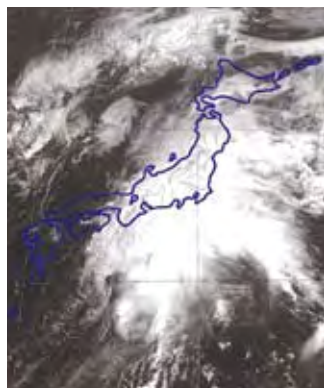
さらに下流部でも次々と洪水が発生し、8月5日午後には筑西市南部の赤浜地区（旧明野町）の堤防が決壊。濁流は津波のような勢いで約5km北上し、谷原・大林地区などに押し寄せ、大きな被害をもたらしました。

さらには下流部でも次々と洪水が発生し、8月5日午後には筑西市南部の赤浜地区（旧明野町）の堤防が決壊。濁流は津波のような勢いで約5km北上し、谷原・大林地区などに押し寄せ、大きな被害をもたらしました。

◀屋根の上に取り残された人を救出（嘉田生崎地区）
台風10号による雨は瞬く間に民家に浸水し、逃げ遅れた人たちはボートで避難しました。



小貝川決壊



激しい雨を降らせた台風10号の画像
昭和61年8月4日『気象衛星ひまわり』撮影



勤行川の氾らんによって冠水した県道下館・つくば線（旧下館市大和町）



◀▲決壊した小貝川の堤防（赤浜地先）

この後、濁流は北上し、谷原、大林、東保末、海老江地区に襲いかかった。（手前が下妻市、奥が旧明野町。白く見えるのが県道下妻真壁線・旧小貝橋）



最も被害の激しかった、小貝川と大谷川 ▶ の合流部分（現在の母子島遊水地付近）南側の無堤防部分から水が流入し、冠水した母子島・飯田・一丁田・椿宮・小釜集落



小学校での避難生活と水害ごみの搬出 ▶ 救出され、小学校で不安な日々を過ごす市民（左） 水に浸かった畳や家財道具などの水害ごみは、ダンプカー約3,000台分にもものほりました（右）



▼ヘリコプターによる救助（中根） 孤立した住民を救出するため、自衛隊にヘリコプターの派遣を要請。自衛隊、東京消防庁などから6機が救出活動を行う



台風10号の爪あとはすさまじく、この大水害によって筑西市内は大きな被害を受けました。
 下館地区で床上浸水1373戸、床上浸水884戸、明野地区で床上浸水269戸、床下浸水228戸に達し、下館地区の養蚕小学校でも床上まで浸水しました。停電や電話の不通も市内各所で発生しました。
 また大水は、水稲をはじめたばこや大豆など農作物にも大きな被害をあたえ、農機具や農業用施設などを合わせると、筑西市内だけでも被害額は50数億円にのほりました。
 さらに、市内の主要な道路や橋が各所で損壊し、救助や救援物資の移動の妨げとなったり、JR水戸線では鉄道敷が水圧で流失するなど長期間にわたって、交通網にも大きな被害をもたらしました。

そして復興へ

観測史上最悪の被害を受けた小貝川は、昭和61年9月、建設省（現在の国土交通省）の直轄河川激甚災害対策特別緊急事業（通称・激特事業）の採択を受けました。この激特事業では主に、小貝川中流部約10kmの堤防補強、小貝川大橋の架け替え工事、そして母子島遊水地の建設が行われ、総事業費

208億円、工期が5か年という大規模かつ緊急の事業でした。

中でも母子島遊水地建設は、地区内に点在していた5つの集落（母子島・飯田・一丁田・椿宮・小釜）を集団移転させ、遊水地内に新たなまちをつくるという、全国でもはじめての事業でした。そして平成3年、代替地や補償



▲激特事業によって完成した『母子島遊水地』（上）洪水時に小貝川の水かさがある一定の高さになると、ここに水が溜め込まれます。右下は造成中の『旭ヶ丘』。左下は安心して暮らせる旭ヶ丘の街並み。

などさまざまな問題を解決し、住民の理解と熱意によって新たなまち『旭ヶ丘』が完成しました。旭ヶ丘の面積は、道路・公園などを含めて14・4ha。上下水道や集会所・公園も整備され、109世帯の住民が安心して暮らせるまちが誕生したのです。

また、集落の移転によってできた跡地を含む160haが堤防で囲まれ、遊水地が完成しました。遊水地のはたらかきは、洪水によって小貝川が増水したとき、越流堤から増水した水を遊水地へ導き入れて、溜め込むのです。そして、洪水の危険が去った時点で、小貝川に水を戻してやることにより、下流への水量を減らし、小貝川全体の安全性を高めます。母子島遊水地は、500万³mの水を溜め込むことができます。



みなさんのおかげで、安心して暮らせます。

旭ヶ丘自治会長 仁平江一さん



無堤部分から逆流し、迫ってくる水を見たときは、津波とはこういうものかと思いました。集落の水道施設が冠水し、市に給水を要請しましたが、「給水車が大水のためにたどり着けない」との連絡を受けたとき、今までの洪水とは違うなと感じました。明るくなつてからの出水でしたので、人的被害がなかったのが不幸中の幸いでした。

私の住んでいた一丁田集落の人たちは、激特事業の指定を受け、旭ヶ丘へ安住の地を求めることができました。新しいまちづくりは大変な事業でしたが、住民の心が一つなり、短期間に事業を完成することができました。今では安心して生活することができ、ご尽力くださいました皆様に感謝申し上げます。

災害に強いまちをつくる

筑西市には、小貝川、鬼怒川、勤行川、桜川、大谷川など多くの河川が流れ、豊かな恵みを私たちに与えてくれています。時として、私たちの想像を超える猛威をふるってきました。

昭和61年8月の大水害からちょうど20年が経過し、改めて行政と市民が災害の悲惨さと防災の大切さを認識しようとして「防災・減災フォーラム2006 IN茨城」が、8月4日、スピカコミュニティプラザで開催されました。

NHK解説委員の山崎登さんの基調講演に続き開催されたパネルディスカッションでは、富山省三市長、ポ



安全で安心して暮らせる
まちづくりに取り組む

富山 省三 筑西市長

ランティア連絡会の関根静子会長、富田宏司消防団副団長、国土交通省下館河川事務所の下館河川事務所成田所長のコ

メントを紹介し

富山市長 現在の取り組みとしては、地域特性を十分に考慮した、新たな『地域防災計画』の整備を進めています。また、『筑西市水防訓練』を毎年開催し、水防技術の習得と水防意識の高揚を図っています。さらに、内水による冠水被害を減らすために、『エンジン付き大型排水ポンプ』の配備を年次計画で進めています。

水害に強いまちづくりへ向けて、今年度中に『洪水ハザードマップ』を作成します。これは洪水時の危険な箇所や浸水が予想される箇所などを地図上に表し、あわせて避難場所や避難経路などの情報を盛り込んだものです。また、「自分たちの地域は自分たちで守る」という観点から、自治会やボランティアなどを母体とした『自主防災組



情報は予防につながる

国土交通省下館河川事務所 成田 一郎 所長

織』づくりを積極的に推進していきたくて考えています。

成田所長 現在進めている河川整備の面からお話すると、まず小貝川に架かるJR水戸線の橋桁が川の流れの障害要因となっているため、平成21年までに架けかえます。また、万が一小貝川の堤防が切れた場合に備えて、川のそばに資材などを備蓄しておく『防災ステーション』を整備していきます。普段は公園や広場として利用しますが、いざというときには、地中に埋められたコンクリートブロックを使って堤防を閉めたり、司令基地として利用したりします。

防災という面では、情報の提供に力を入れていきます。これまでのわかりにくかった情報を見直し、受け手側の立場に立った情報提供に努めます。また、情報は災害の最中に出すだけではなく、普段からの情報がとても大切です。浸水地域や避難場所を記した『洪水ハザードマップ』を作成し、筑西市と連携しながら、学校や自主防災組織などで、繰り返し説明会を行っていきたくて考えています。

『防災・減災フォーラム2006 IN茨城』

悲願の排水ポンプが完成し、安心して生活できます。

古内自治会長 渡辺 弘さん



古内地区は昔から内水に悩まされてきましたが、昭和61年8月の大水の時は、堤防を越えて水が集落に入ってくるという、大変怖い体験をしました。

また、集落の水道に泥水が入り、大腸菌が検出され、約半月程度飲むことができず、水の確保に大変苦労しました。

その後は堤防のかさ上げなどにより、小貝川の水に悩まされることはなくなりましたが、内水の被害は相変わらず解消されませんでした。しかし今年7月に念願の排水ポンプ施設が完成し、集落にたまった水を小貝川へ排水できるようになりました。これから台風の季節を迎えますが、大雨にも安心して過ごすことができます。関係者のみなさまありがとうございます。



7/23 文芸 (しもだて地域交流センター) 7/27～30 美術 (市文化ギャラリー・コミュニティプラザ) 7/30 芸能 (市民会館)

文化協議会が第1回筑西市芸術祭を開催

7月、筑西市文化協議会(会長=神原栄二さん)と市教育委員会が主催する第1回筑西市芸術祭が開催され、文化協議会に加盟する各団体の会員が、日ごろの修練の成果を披露しました。



【文芸部門参加団体】

しもだて短歌会／関城文芸／つくばね文化河の会／下館俳句会

【美術部門参加団体】

アートグループ下館／関城墨水会／美術会／書遊会蘭契社／書道連合会／書遊会／下館写真連盟／下館手芸研究会／手あみサークル／和紙押絵あじさいの会／ちぎり絵／あやなす編み物会／白萩会

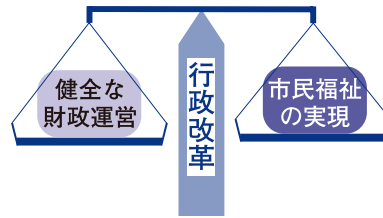
【芸能部門参加団体】

筑西市下館民謡連合会／明野民謡連合会／民舞・新舞踊連絡協議会／神山芳子バレエスクール／羽田モダンバレエ研究所／下館吟詠剣詩舞連合会／筑西市下館三曲協会／日本舞踊連合会／あけの歌謡連合会／協和地区歌謡連合会／明野ハワイアンクラブ／大正琴の会／大正琴紫陽花の会



Vol.2
行政改革大綱と集中改革プラン
で進める筑西市の行政改革

市が目指す行政改革は、市民福祉実現と健全財政確立を両立させた、力強い筑西市づくりです。そのため、昨年の『集中改革プラン』に続き、今年『行政改革大綱』を策定します。



市にとって、真に必要なものを見極めて

行政改革は、市が行っている行政運営を、全面的に見直し、効率的で効果的な行政経営が行えるように取り組むものです。行政改革に取り組む理由は、危機的状況にある財政を立て直すことです。しかし、無駄遣い

中学生が市役所で職場体験学習



7月26日、関城中学校と明野中学校の2年生が、市役所で職場体験学習を実施。これは、進路指導の一環として各中学校が毎年実施しているもので、明野中の3人（写真上）は取材活動など「広報筑西」作成の模擬体験を、関城中の3人は市内パトロール体験などを行いました。

市の木『さくら』の写真展を開催



7月31日から8月25日まで、市役所本庁舎と各支所の会場を巡回し、市の木『さくら』写真展を開催しました。同展は、市内にある桜や桜のある風景を対象に作品を募集したもので、市内外の22人から40点の作品が寄せられました。

道路ふれあい月間にあわせて美化清掃活動



8月10日、市と筑西土木事務所は、茨城県建設業協会筑西支部と建設ボランティア下館の協力を得て、市内主要道路の美化清掃活動を行いました。146人、ダンプカー51台が参加し、集めたごみ622袋などを環境センターに運びました。

をしないので、支出を抑えることだけが理由ではありません。市民にとって真に必要なのは何かを見極め、改革を進めることが必要です。限られた行政資源を有効に使い、どうすれば市の責任を果たし、市民福祉を実現できるか、行政と市民が知恵を出し合いながら総合的に進めるのが行政改革です。

市は、市民福祉実現と健全財政の両立を図るため、『市民協働の推進』『行政経営の推進』『財政構造の健全化』を柱に、徹底した改革を進めています。

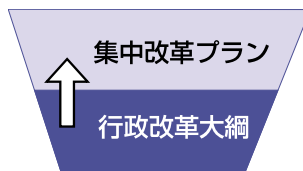
改革項目を達成させ
市民福祉の充実を図る

行政改革を進めるとき、その

指針となるのが『行政改革大綱』と『集中改革プラン』です。

『行政改革大綱』は、行政改革に対する取り組みの方向性を示した基本方針で、一方、今年3月に公表した『集中改革プラン』は、行政改革の基本方針を実現させるための具体的な取り組みと目標を示した計画です。

行政改革実現のため、『集中改革プラン』で示した改革項目達成に全職員が取り組みます。※集中改革プランは、市ホームページ、行政推進課のページからご覧ください。



合併と行政改革

筑西市は、昨年3月に合併して誕生しました。厳しい財政状況にあった各市町は、市民福祉を充実させるため合併したのです。

合併は、一つの行政改革です。合併することで、4つの市町で重複する業務の統合を図ることができ、職員の削減が可能となりました。

しかし、地方交付税が削減されたことで、市の財政は、非常に厳しい状況にあります。そのため、今後行政改革を進め、市民福祉の充実を目指します。

フーテンの寅さん現る

真岡鐵道の観光ボランティア 植木さん

7月21日、フーテンの寅さんとらに扮してボランティア活動などを続ける植木定男さんさだお（51歳・関本肥土あづま）が、市役所を訪問しました。植木さんは、衣装やカバンなどの小道具を忠実に再現し、俳優・渥美清あつみきよが映画で演じた車寅次郎くるまごろうになりきる熱烈な寅さんファン。「寅さんが生きた昭和の時代の雰囲気をもっと多くの人に味わってもらいたい」と、4月から真岡鐵道のSLに同乗し、観光客をもてなすボランティア活動を行っています。

▼寅さん列車へ問い合わせは、真岡線SL運行協議会TEL0285(82)9151へ



ことぶき荘でいきいきヘルス体操

県西いきいきヘルス会

7月25日、市立ことぶき荘老人ホーム（中館なかたて）で、県西地区在住の県認定シルバーバリアリハビリ体操指導士22人によるボランティア団体・茨城県西いきいきヘルス会が、いきいきヘルス体操の指導を実施。昨年発足した同会は、県西地区に住むお年寄りを対象に、介護予防や健康増進を図るヘルス体操の指導を続けています。会長の風間タカ子さん（62歳・伊讚美いさみ）は、「ここを訪れたのは今日が3度目。回を追うごとにお年寄りの表情が豊かになり、笑顔が増えています」と語ってくれました。



下館祇園まつりで思い出づくり

同友クラブ ちびっ子お神輿体験ツアー

7月27日から30日早朝まで開催された下館祇園まつりにあわせ、同友クラブ（会長 萩野忠夫あぎのただおさん）が、『ちびっ子お神輿体験ツアー』を実施しました。同友クラブは、市内の事業者が中心となり、地域のまちづくりなどを目的に活動する団体。29日・30日に実施された体験ツアーは、招待した子どもたちの思い出づくりと筑西市を全国に紹介するために行ったもので、東京や県内全域などから集まった小学生約70人が、「わっしょい、わっしょい」の元気な掛け声とともに神輿を担ぎました。



筑西あらかると

暮らしを考え まちを知りたい みんなの広場



おでかけガイド

詳細は変更になる場合があります。事前に確認しておでかけください。

9/15(金)から とちぎ総合文化フェスティバル 2006

栃木県総合文化センター [宇都宮市 TEL028-643-1010]
15日バックステージツアー、16日キッズオーケストラと遊ぼう(両日は事前申込必要、無料)、17日栃木県交響楽団特別演奏会(有料)

10/14(土) しまじろう・ふしぎなもりのものがたり

小山市立文化センター [小山市 TEL0285-22-9552] 月曜休館
全席指定 1,500円 午後12時30分、3時30分の2回公演
(こどもちゃれんじ)でおなじみの「しまじろう」が遊びに来るよ

9/30(土)から 生誕120年 富本憲吉展

茨城県陶芸美術館 [笠間市 TEL0296-70-0011] 月曜休館
一般700円 高大生500円 小中生250円 大和時代の楽焼・土焼、東京時代の白磁・染付、京都時代の色絵・金銀彩を展示

10/15(日) 音楽のおくりもの

栃木県総合文化センター [宇都宮市 TEL028-643-1010]
全席自由 大人1,500円 子ども500円 赤ちゃんと一緒にクラシック 午前11時開演 子どもも大人もクラシック 午後2時開演

10/13(金) ルジマトフ & インベリアルロシアバレエ シェヘラザード

栃木県総合文化センター [宇都宮市 TEL028-643-1010]
午後6時30分開演 S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円 学生3,000円 魔性の男“ルジマトフ”がひたすらに踊る

12/4(月) 熊川哲也 K-バレエカンパニー くるみ割り人形

栃木県総合文化センター [宇都宮市 TEL028-643-1010]
午後6時30分開演 SS席18,000円 S席15,000円 B席9,000円 C席5,000円(学生2,000円) 豪華絢爛、空前のスペクタクル

ぼくたち・わたしたち 1歳になりました

わが家のアイドル



さかい か な ちゃん
坂入 香那ちゃん
9月1日生(大関)



せき かい と くん
関 快斗くん
9月1日生(幸町)



みやがわ ゆい め ちゃん
宮川 結愛ちゃん
9月2日生(小川)



ほりえ ひな ちゃん
堀江 姫奈ちゃん
9月2日生(樋口)



よしだ ゆう と くん
吉田 悠人くん
9月6日生(村田)



いけだ せい た くん
池田 成汰くん
9月8日生(樋口)



おじま せな くん
小島 星那くん
9月8日生(下中山)



おおやま まさ き くん
大山 将希くん
9月9日生(直井)



おおやま かず き くん
大山 和希くん
9月9日生(直井)



あらい る く くん
新井 琉玖くん
9月10日生(国府田)



しゅとう ちひろ くん
首藤 千博くん
9月12日生(井上)



いいた まほ ちゃん
飯田 麻裕ちゃん
9月13日生(谷原)



さかい りゅう しょう くん
坂入 龍昇くん
9月13日生(樋口)



わたべ たい が くん
渡邊 大雅くん
9月13日生(藤ヶ谷)



ふじた みお ちゃん
藤田 海央ちゃん
9月15日生(みどり町)



なかの ひかり ちゃん
中野 ひかりちゃん
9月21日生(蓮沼)



ふるしま こう た くん
古島 功大くん
9月22日生(甲)



ふじしろ くれん ちゃん
藤代 かれんちゃん
9月26日生(蓮沼)



にしやま さき ちゃん
西山 沙希ちゃん
9月27日生(新治)



おおち こと ねい ちゃん
大地 琴寧ちゃん
9月28日生(藤ヶ谷)



しまだ みく ちゃん
島田 未来ちゃん
9月30日生(茂田)



やまなか かず き くん
山中 一樹くん
9月30日生(松原)



やなか せい や くん
谷中 靖哉くん
9月30日生(笹塚)

平成17年11月生まれのお子さんの写真を募集しています。

写真裏面に①お子さんの氏名・ふりがな・生年月日・性別 ②保護者氏名・郵便番号・住所・電話番号を明記し、9月29日(金)までに市広報広聴課へ。応募者多数の場合は抽選とします。



村田小学校

児童数206人



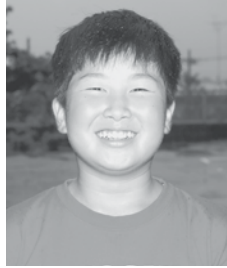
おのつかあかね
小野塚朱音

私の夢は小学校の先生になることです。市の未来は子どもたちが安全に過ごせる筑西市になるといいな。



みずがきありさ
水柿愛里沙

将来の夢は保育士になること。そしてよりよい筑西市になるよう元気で明るい子どもを育てていきたいです。



ひきしんや
比気 慎也

将来は自分の才能を生かせるような仕事につきたい。筑西市はこれからいろいろな楽しい行事があるといいな。



ひろせけんた
広瀬 健太

僕の将来の夢はサッカー選手になりセリエAでプレーすること。未来は今よりもっともっと緑を増やしたい。



いとかわのぶき
糸川 伸樹

将来の夢は、NBAでバスケの選手として活躍すること。筑西市はこれから、明るく楽しい市だといいいな。



すぎやま りょう
杉山 凌

ぼくは、将来バスケットの選手になることが夢です。スポーツが盛んな筑西市にしたいと思います。



ねもと なおゆき
根本 尚征

プロサッカー選手になって、家族をスタジオアムに連れて行きたい。みんなが仲良く暮らせるまちにしたいです。



しみず まなみ
清水 真成美

私は将来お菓子屋さんになりたい。そして筑西市の人たちに私の作ったお菓子を食べて幸せになってもらいたい。



すぎやま あさみ
杉山 安紗美

私の将来の夢は、パティシエになって大勢の人にお菓子を食べてもらうこと。筑西市も人のにぎわう明るいまちにしたい。



つるまき さちこ
弦巻 幸子

私は、将来上戸彩さんみたいな女優になりたい。そして、未来の筑西市を明るいまちにしたいです。

養蚕小学校

児童数455人



筑西市出身の陶芸家・板谷波山（名譽市民、文化勳章受章者）の半生を描き、平成15年に公開された映画「HAZAN」（出演：榎木孝明、南果歩ほか 監督：五十嵐匠 製作：桜映画社）

映画「HAZAN」を観ました
6月10日のNHK衛生第2放送BS2で、映画「HAZAN」を観ました。筑西市が生んだ文化勳章受章者・板谷波山。放映中は釘付けで観ていましたね。波山の素晴らしさは計り知れないものがあり、誰もが感動を受け感激でした。波山の作品は出光美術館（千代田区）などで観ることができますが、映画化によってたくさんの方が波山を観ることができて良かったです。波山と過ごしたことがある人（私の身内）や、波山と一緒に犬の散歩をしたことがある人（私の姉）から、その人となりを話に聞いていましたが、映画でそのシーンが出てきて感動しました。自分の作品のときに満足いかない波山がそれを割るシーンなどなど、良い映画でした。（千葉市・仙波裕・68歳）

日ごろの暮らしの中で思っていることを投稿してください。匿名可。広報広聴課まで

おたより

スナップ

おもしろ理科実験に歓声 協和公民館・夏休み子ども教室

8月5日、協和公民館で『おもしろ理科教室』を開催しました。これは同公民館が主催する『夏休み子ども教室』のひとつで、市内から親子など45人が参加。風船によるロケットやキーホルダーづくり、かたくり粉と水で行なう理科実験などに、目を輝かせる子どもたちの姿が見られました。



北嶋
訓子

さん (赤浜)

写真前列右



「俳句は、1年生の時に受けた選択授業で作ったのが初めて。賞に入ることは考えていなかったのですが、今回の受賞にはびっくりです。大賞をいただいたのは、『鳥雲に入るからつぼのペンケース』という句。渡り鳥が北に帰っていく季節の、曇りがちで寂しげな空模様を『鳥雲』と言い、『鳥雲に入る』は春の季語です。『からつぼのペンケース』とは、これから新しい文房具を入れるもの。春になって進級し、新たに始

まる生活への希望や期待を表しています」と語ってくれたのは、県立下館第一高等学校の定時制3年で、同校文芸部所属の北嶋訓子さん(19歳)。北嶋さんは、現代俳句協会が主催し、7,915点の応募があった『第3回現代ジュニア俳句コンクール』で大賞を受賞しました。下館一高文芸部ではほかにも、全日制2年の3人が入賞。藤貫知美さん(結城市・写真前列左)は毎日新聞社賞、廣澤芳恵さん(桜川市・写真後列右)は優秀賞、仁平朱美さん(桜川市・写真後列左)は佳作を受賞しています。

8月19日・20日、愛媛県松山市で開催される『俳句甲子園(第9回全国高等学校俳句選手権大会)』に、下館一高文芸部の一員として参加する北嶋さん。「昨年、私たちは準優勝。今年は勝ちたいという欲を捨て、楽しく俳句を作りたいと思っています」。

『鳥雲に入る からつぼのペンケース』
寂しさと希望を織り込んだ作品です

ぶらり

真岡鐵道の旅

もおか
真岡駅



C11325号 (C11型)

下館駅からSLにゆられること35分、栃木県芳賀地方の中心都市、真岡市の『真岡駅』に到着します。真岡駅は、明治45年に開設され、1日の乗降客数が1500人を越える真岡線の主要駅。真岡駅に着いてまず驚かされるのが、駅舎自体が巨大なSLの形をしていることです。また、駅西口のSL館ではSL復元の記録などが展示されています。SL運行日以外は重厚なSLを駅構内で間近に見ることが出来ます。



SLをモチーフとした真岡駅。市の情報センターなどが併設されています。また、展望テラスからはSLの入線や駅舎の様子が見学できます。

木綿のまち真岡を散策



市内を流れる行屋川

真岡駅から城山通りを歩いて5分、真岡城址のすぐ脇を流れるきれいな川が見えてきます。この川は真岡城の内堀だったものを昭和のはじめに改修し、勤行川の水を導入して、行屋川と名付けられました。現在では、川べりに親水公園などが整備され、市民の憩いの場として親しまれています。さらに歩くこと5分、近年美しく整備された荒町通りに入るとすぐに、江戸時代のたたずまいを残す、蔵づくりの『真岡市物産会館』にたどり着きます。この建物は、江戸時代から続いた木綿問屋の店舗で、その貴重な建物の保存活用を図るために、真岡市が平成6年に物産会館としてオープンさせました。

真岡木綿とは

真岡木綿の歴史は古く、

- 茂木
- 天矢場
- 笹原田
- 市塙
- 多田羅
- 七井
- 益子
- 北山
- 西田井
- 北真岡
- Vol5 もおか 真岡
- 寺内
- 久下田
- ひぐち
- 折本
- 下館二校前
- 下館

■はSL停車駅

江戸時代には、鬼怒川、勤行川、小貝川など河川沿いの砂質の畑で綿花が栽培され、それを原料とした真岡木綿は品質もよく、江戸時代（文化・文政・天保年間）には年産38万反、江戸の間屋が扱う木綿の約6割が真岡産だったというほどの隆盛をみます。しかし明治期には、安い輸入綿糸の普及などにより、真岡木綿は急速に市場を失っていききました。

真岡木綿の魅力に触れる

伝統工芸品として見直されている真岡木綿は、真岡市物産会館に隣接する木綿工房でその魅力に触れることがで



真岡市物産会館（真岡木綿工房）
■休館日 火曜日（祝日開館）・年末年始
■開館時間 10:00～17:30 ※機織り体験は予約が必要です。Tel 0285-83-2560（工房）

また、同じ敷地内には、明治初期に豪商岡部呉服店の2代目岡部久四郎氏によって建てられた『金鈴荘』（県指定有形文化財）が往時の姿をそのままに保存されています。案内してくれた、管理人の田崎いせさん（80歳）によると、床の間に使われている唐木（紫檀、黒檀など）は、今ではとても入手困難な材木であり、襖に使われている金箔の張り付けは現在の技術ではできない貴重なものだとか教えてくれました。

「木綿とSLのまち」真岡市は、歴史と伝統が息づくまちでもありました。ぜひ、訪れてみてはいかがでしょうか。



岡部記念館「金鈴荘」 入場無料
■開館日 土・日曜日のみ
■開館時間 10:00～16:00

■このコーナーを担当したのは、

おしま くにみつ はすぬま
小島 邦光さん (蓮沼)

『愛の献血』で尊い命を救いましょう

輸血用の血液は献血でまかなわれています。筑西市では行政が中心になり、各企業や学校、行政機関で献血事業を行っています。また、市内にある各ライオンズクラブも行政に協力し、積極的に献血活動を推進して大きな成果をあげています。今回はその中の一つ、協和ライオンズクラブの献血活動取材しました。

協和ライオンズクラブの献血活動

筑西市における献血事業は、市保健福祉部の保健推進課と下館・関城・明野・協和の各保健センターが窓口となっており行っています。協和地区では毎年4回、協和ライオンズクラブ（協和ライオンズクラブも協力）が中心になって献血活動が実施されています。

本年度最初の献血は、8月2日（水）に協和総合センターで実施されました。赤十字血液センターの献血車が2台配車されて、午前10時から午後3時30分まで、昼休みもなく採血が行われました。当日はライオンズクラブとライオネスクラブの会員24人が交代で、会場準備や記念品の用意、受付などを行いました。午後からは待ち時間ができるほどで、献血に協力してくれた人は104人、採血量は30・6リットルでした。保健センターでは、できるだけ多くの人たちに協力していただけるよう、広報筑西紙上での予告や協和地区全戸へのチラシ配布、そして当日は防災無線放送を午前と午後の2回行いました。また、ライオンズクラブもポスターの掲示や電話での

お誘いなどを行いました。

協和ライオンズクラブの久野衛会長と同クラブの須鎌祥行献血委員長は、「献血はクラブ結成以来28年間継続している事業です。中には260回も協力してくれた人もいて、赤十字血液センターからは大変感謝されています。昨年は1日当たりの献血者が市内で最も多く、記念品の赤玉卵も参加者に大変好評を得ています。実績が評価されたのでしよう。今回、赤十字社から献血功労賞をいただきました。また、以前には厚生大臣賞も受賞したことがあります」と語ってくれました。

献血は誰にでもできる社会奉仕

昨年度の献血事業は市全体で56回行われ、献血に協力してくれた人は延2,400人、その採血量は770リットルです。しかし、茨城県全体の献血者数は平成12年度以降減少しています。昨年度の献血者数は全国14位ですが、献血率（献血者数／人口）は全国平均42%に対し34%で44位。減少傾向は筑西市も同様で、しかも献血率は昨年度で

21%と県平均よりかなり低いのです。献血された血液を血液製剤として医療機関に供給している茨城県赤十字血液センターの小林孝さんは、「医療機関からの要望の約半数が血小板製剤。血小板のみを採取する成分献血にもご協力をお願いします」と訴えています。

協和地区における今後の献血予定日は、10月25日（水）12月3日（日）、2月14日（水）、場所は協和総合センターです。より多くのみなさんのご協力をお願いいたします。



10月1日から、筑西市が開発行為等許認可事務を行います

都市計画法に基づく開発行為等の許認可については、これまで茨城県で行っていました。10月1日から、まちづくり特例市の指定を受けたことにより、筑西市で取り扱うこととなります。

【委譲される主な事務】

- ☆都市計画法第29条第1項の規定に基づく開発許可
- ☆都市計画法第43条第1項の規定に基づく建築許可

☆都市計画法施行規則第60条証明

■問い合わせ

宅地開発課第一係・第二係
TEL 24-2111 (内線7361)

10月1日から、2ヘクタ以下の農地転用が市農業委員会会長の許可に

まちづくり特例市の指定を受けたことにもない、農地転用許可など8事務を、茨城県から権限委譲を受けた市農業委員会に取り扱うことになりました。

【委譲される主な事務】

- ☆農地法第4条第1項の規定による農地転用の許可 (2ヘクタール以下のものに限る)
- ☆農地法第5条第1項の規定による農地または採草放牧地の転用のための権利移動の許可

☆農地法第4条第3項 (法第5条第3

項を含む)の規定による茨城県農業会議の意見の聴取

【申請書提出締切日】 毎月20日 (締切日)

【定例総会日】 毎月10日 (総会日が土日、祝日の場合は開庁日)

【問い合わせ】 農業委員会農地調整課農地調整係
TEL 20-11167

敬老 (長寿褒章) 事業のお知らせ

市は、長寿をお祝いするため、9月1日以降、該当者に『敬老金券』を送ります。

| | | |
|--------------------|-------------------|---------------|
| 敬老祝品 (長寿褒章者を除く) | 70歳以上の人 | 千円相当の敬老金券 |
| | 88歳(米褒状と3千円相当寿)の人 | の敬老金券 |
| 長寿者褒章 | 100歳以上の人 | 褒状と2万円相当の敬老金券 |

▼敬老金券は、市内の取扱店でのみ金券として使用できます。

▼敬老金券と一緒に取扱店一覧表をお送りしますので、ご確認ください。

▼敬老金券の有効期間は、平成19年1月31日までです。

▼昨年の敬老金券 (青色) は有効期限が過ぎており、使用できません。

■問い合わせ

- 高齡福祉課 TEL 24-2111
- 関城福祉課 TEL 37-6111
- 明野福祉課 TEL 52-5252

協和福祉課 TEL 57-2511

◆新入学児童健康診断

平成19年4月に小学校へ入学予定の児童 (平成12年4月2日～13年4月1日生まれ) の健康診断を実施します。案内通知を送りましたが、指定日に受診できない人や転入などで通知が届いていない人は、連絡してください。

| | |
|------------|---------|
| 9月26日 (火) | 五所小学校 |
| 9月28日 (木) | 川島小学校 |
| 9月29日 (金) | 竹島小学校 |
| 9月30日 (土) | 養蚕小学校 |
| 10月1日 (日) | 鳥羽小学校 |
| 10月2日 (月) | 下館小学校 |
| 10月3日 (火) | 上野小学校 |
| 10月4日 (水) | 新治小学校 |
| 10月5日 (木) | 長譜小学校 |
| 10月6日 (金) | 古里小学校 |
| 10月7日 (土) | 小栗小学校 |
| 10月8日 (日) | 大村小学校 |
| 10月9日 (月) | 嘉田生崎小学校 |
| 10月10日 (火) | 関城西小学校 |
| 10月11日 (水) | 中小学校 |
| 10月12日 (木) | 大田小学校 |
| 10月13日 (金) | 村田小学校 |
| 10月14日 (土) | 河間小学校 |
| 10月15日 (日) | 伊譜小学校 |
| 10月16日 (月) | 関城東小学校 |

■問い合わせ

市教育委員会学務課
TEL 22-0181 (内線315)

◆難病患者福祉手当の支給

▼対象 一般特定疾患医療受給者証または特定疾患登録証を所持している人
▼支給額 年額1万円

▼必要品 一般特定疾患医療受給者証または特定疾患登録証の写し、印鑑および本人名義の通帳 (銀行または農協)
▼申し込み 9月29日 (金) までに市障害福祉課、関城・明野・協和福祉課へ ※昨年申請した人も、新たに申請が必要です。

■問い合わせ

障害福祉課在宅障害係 内線226

◆資源ごみ集団回収 (下館地区)

▼日時 9月16日 (土) 午前9時～正午 ※雨天延期の場合あり
▼場所 市役所駐車場
▼回収品目 金属類、衣類、びん類、古紙類
▼回収できないもの 木製品、ガラス、プラスチック製品、テレビ、洗濯機、冷蔵庫、冷凍庫、エアコン、パソコン
▼受付票、詳しい内容は『ごみカレンダー』6ページをご覧ください。

■問い合わせ

生活環境課ゴミ減量係 内線249

◆平成18年事業所・企業統計調査にご協力を

10月1日、平成18年事業所・企業統計調査が全国一斉に行われます。調査の結果は、これからの地域開発や都市計画など、私たちの生活をより良くするために必要な基礎資料となります。9月下旬から、調査員が各事業所へ調査票をお届けしますので、必ずお受け取りになって、漏れなく記入してください。

さい。調査票を配布・回収する調査員は『調査員証』を携行しています。安心してご協力をお願いします。

■問い合わせ

企画課統計係 内線494

●屋外広告物強調月間

毎年9月は屋外広告物強調月間です。屋外広告物とは、屋外で常時または一定の期間継続して公衆に表示される広告物（はり紙、はり札、立看板、広告塔、広告板、建物の壁面や屋外広告など）です。屋外広告物は茨城県屋外広告物条例により、設置場所や大きさに規制があり、掲出には市長の許可が必要です。また、屋外広告業を営もうとする人は、市都市計画課に届け出てください。

【まちの違反広告物除去活動を行うボランティア団体を募集します】

現在、市では違反広告物追放推進団体の認定を受け、講習を受講した19の団体、総勢521人が簡易除去などの活動をしています。

■問い合わせ

都市計画課都市計画係
内線7311・7312

●下館地区学校体育館施設開放
利用団体調整会議

▼日時 9月22日（金）午後6時30分～（時間厳守）
▼場所 下館総合体育館研修室
▼内容 10月・11月分の

日程調整など ▼持参品 筆記具、代表者印、登録申請書

■問い合わせ

スポーツ振興課（下館総合体育館内）
TEL28-5040

●関城地区体育施設利用者会議

▼日時 9月7日（木）午後7時～
▼場所 関城体育館内トレーニング室
▼対象 現在、関城地区内の社会体育施設を定期的に利用している団体。また、今後利用を予定している団体。▼内容 10月から来年3月までの定期利用の調整など

■問い合わせ

スポーツ振興課（下館総合体育館内）
TEL28-5040

●障害者就職面接会

【筑西会場】▼日時 10月6日（金）午後1時～3時30分 ▼場所 三の丸ホテルダイアモンドホール
【水戸会場】▼日時 9月29日（金）午後1時～3時30分 ▼場所 ホテルレイクビュー水戸
【土浦会場】▼日時 10月5日（木）午後1時～3時30分 ▼場所 土浦京成ホテル

■問い合わせ

筑西ハローワーク TEL22-2188

●『9月9日』救急の日

人が生命の危機に陥っている場合に

遭遇したとき、私たちは一体どのような行動をとればよいのでしょうか。このような場合には、一刻も早く救急車の要請と、適切な応急手当を行う必要があります。そして、その応急手当を行う人こそ、その場に居合わせた『あなた』なのです。

消防署では、救命率の向上をめざして応急手当の講習会を行っていますので、申し込みください。

■問い合わせ

筑西広域町村圏事務組合消防本部
TEL24-0110

イベント

●わっしょい市

▼日時 9月17日（日）午前10時～午後4時 ▼場所 アルテリオまちかど広場 ▼内容 街かどコンサート、フリーマーケット、直産青空市（新鮮朝採り野菜などの販売）ほか ▼フリーマーケット出店 1人1区画（3m×2m、出店料無料） ▼出店申し込みは、午前10時から午後5時までに電話で平沢（TEL24-6000）へ

■問い合わせ

商工観光課 TEL20-1160

●日用品即売会
筑西市生活学校

▼日時 9月21日（木）午前9時～
▼場所 アルテリオまちかど広場

▼品名 味噌、花、手作り小物、採りたて野菜など

■問い合わせ

地域交流センター学習支援係
TEL23-1616

●読み聞かせ（協和公民館）

▼日時 9月16日（土）午前10時30分～11時30分 ▼場所 協和公民館和室
▼対象 幼児・児童及び保護者 ▼内容 絵本「ABCのおかいもの」「ゆらゆらばしのうえで」、紙しばい「かえるのゴムぐつ」、歌など

■問い合わせ

読み聞かせの会てるて姫
飯山 TEL57-6782

●協和おはなし会（協和公民館）

▼日時 9月28日（木）午前10時30分～11時30分 ▼場所 協和公民館和室
▼対象 幼児・児童および保護者 ▼内容 絵本「チューチューこいぬ」「いないいないばあ」、紙しばい「ねないこだあれ」、お話「ありときりぎりす」、手あそびなど

■問い合わせ

協和おはなし会
岩測 TEL57-4498

●読み聞かせ（黒子公民館）

▼日時 9月9日（土）午後2時～3時 ▼場所 黒子公民館 ▼内容 絵本「すてきな三にんぐみ」「じてんしゃにのれたよ」、紙しばい「こぶとりじ

いさん」「おひさまときたかぜ」■問
い合わせ
夢くらぶ 小川 TEL37-3556

●ハウジングライブトーク 辰巳琢郎さんをお迎えして

▼日時 10月14日(土) 午後1時〜4時
▼会場 つくば国際会議場
▼参加無料
▼申込方法 代表者氏名・住所・電話番号および参加人数を明記のうえ、事務局までハガキ・FAX又はメールにて申し込んでください
▼申込期限 9月30日(土)
■問い合わせ・申し込み
県土木部都市局住宅課
〒310-8555



伊勢正三 & 太田裕美 & 大野真澄

アコースティックコンサート

- 日時 / 12月2日(土)
午後6時開場 午後6時30分開演
- 会場 / 明野公民館大ホール(イル・ブリランテ)
- 入場料 / 4,000円(全席指定)
チケット発売開始: 9月10日(日)
午前8時30分から明野公民館窓口にて
- 問い合わせ / 明野公民館 (TEL 52-5333)

水戸市笠原町978-16
TEL 029-1301-4759
FAX 029-1301-4779
メール jutaku-shido@prefibaraki.jp

●秋季都市緑化フェア

▼日時 10月22日(日) 午前9時〜午後3時
▼場所 県西総合公園コミュニティクラブハウス前広場
▼主な内容 ①ガーデニング、緑化相談 ②植木、物産展 ③フリーマーケット ④有料公園施設の無料開放、ほか
▼フリーマーケット抽選申込方法 10月1日(日)〜10月10日(火) 受付・午前8時30分〜午後5時
■問い合わせ

県西総合公園管理事務所
TEL 57-5631

●読みがたり

▼日時 9月16日(土) 午後2時
▼場所 中央図書館おはなしコーナー
▼内容 絵本『チーちゃんはおくのがすき』、紙しばい『お月さまってどんなあじ』

■問い合わせ 野ばらの会
小薬 TEL 22-4369

●朗読録音テープ

▼録音テープ 『立川らく朝の不労長寿』(立川らく朝・90分4本)、『エッセイ集思いがけない涙』(日本エッセイストクラブ・90分5本)
▼対象者 視覚障害者、寝たきりの人、視力の落ちた高齢者など。テープは市総合福祉センターで無料貸出

■問い合わせ 小薬 TEL 22-4369

●第1回 みんなの詩書展

▼日時 9月2日(土)〜30日(土)
午前10時〜午後7時 ※月曜休み
▼場所 アルテリオ1階カフェ・ブリッズ
▼入場無料
▼主催 森友会(県西生涯学習センター登録学習団体)

■問い合わせ
大久保 TEL 48-1346

●輪投げ教室を開催

▼日時 毎週月曜日 午前10時〜正午

▼会場 五所公民館(上履き持参)
▼内容 練習、指導、競技
▼参加費 無料

■問い合わせ 五所公民館 大和田
TEL 22-6130

●筑西遊湯館

敬老の日感謝セール

▼日時 9月18日(月) 敬老の日
▼内容 入館料が半額にて利用できます
▼対象 65歳以上の人(証明書持参)

■問い合わせ
筑西遊湯館 TEL 33-5151

●秋の野草観察会

鬼怒川のほとりで秋の野草鑑賞会を開催します。
▼日時 9月24日(日) 午前9時〜11時30分(雨天順延 25日)
▼集合場所 JR水戸線川島鉄橋北・コスモス畑
▼持参するもの 筆記具
▼参加無料

■問い合わせ 鬼怒川を愛する会
中澤 TEL 28-2201

●犬や猫の里親会

犬や猫を譲りたい、譲り受けたい人たちに出会いの場を提供します。

▼日時 9月10日(日) 午前11時〜午後2時
▼場所 市役所駐輪場 ※譲りたい人は、事前申し込みが必要です。
■問い合わせ アニマルライフ高橋
TEL 52-2618

募 集

●筑西市立幼稚園児募集

平成19年4月入園の園児を募集します。
▼対象 筑西市に在住する平成13年4月2日～14年4月1日生まれ（1年保育）、または14年4月2日～15年4月1日生まれ（2年保育）の人。
※関城幼稚園は1年保育のみ

■申し込み

入園を希望する幼稚園の受付で願書に必要な事項を記入してください。
※当日手続きできない人は、事前に幼稚園へ連絡ください。

| 幼稚園 | | 募集園児 | 願書の受付 | | 問い合わせ(電話) | |
|-------|--------|--------|------------------------------------|------------|------------------|----------------------|
| 名称 | 住所 | | 日時 | 場所 | | |
| 関城幼稚園 | 黒子218 | 1年保育 | 10/15 (日) 9:00 ～ 15:00 | 入園を希望する幼稚園 | 関城幼稚園 37-4172 | 市教育委員会学務課 22-0181 |
| 明野幼稚園 | 成井622 | 1・2年保育 | | | 明野幼稚園 52-0147 | |
| 協和幼稚園 | 三郷1219 | 1・2年保育 | | | 協和幼稚園 57-4800 | |

●私立幼稚園児募集

平成19年4月入園の園児を募集します。
▼対象 平成14年4月2日～15年4月1日生まれ（2年保育）、または平成15年4月2日～16年4月1日生まれ（3年保育）の人。

願書受付 10月2日（月）から入園を希望する幼稚園にて（願書は各幼稚園で交付しています）

■問い合わせ

| 幼稚園名 | 住所 | 電話番号 |
|----------|------------|---------|
| いずみ幼稚園 | 二木成 1273 | 22-2843 |
| 英光幼稚園 | 女方 241-1 | 28-0652 |
| 下館幼稚園 | 甲 375 | 22-4115 |
| 聖母幼稚園 | 甲 305 | 22-3565 |
| 中館幼稚園 | 中館 456-2 | 24-3333 |
| 西方いずみ幼稚園 | 西方 1813-21 | 24-0409 |
| 和光幼稚園 | 関本下 159 | 37-6354 |

●ナイスハートフェスティバル2006

第13回障害者の文化祭・作品募集

▼作品の種類 絵画／書道・写真／陶芸・木工／手芸・編物
▼出品作品は、障害者が自主制作したものとし『茨城県障害者美術展』に出品予定の作品、過去に展覧会に出品した作品は除くものとする。
▼出品作品は、1人または1

グループにつき1点限りとする。
▼作品の大きさ ①平面作品／縦×横 各々1辺が100cm以内（額を含む）
②立体作品／幅×奥行、各々1辺が100cm以内、高さ100cm以内

申し込み 10月10日（火）までに市福祉事務所障害福祉課（内線225）、特殊教育諸学校および利用している施設長に申し込んでください。

●10月企画あそび参加者募集

■下館子育て支援センターにここに

日時・テーマ 10月4日（水）：5メモリアルdays 10月18日（水）：アスレチックあそび 10月25日（水）：のりものごっこ
▼時間 午前9時～11時30分
▼募集人数 先着各30組
▼費用 無料
▼申し込み 9月14日（木）午前9時～電話または直接、下館子育て支援センターへ
■問い合わせ 下館子育て支援センター TEL 25-3141

●地域交流・茶道教室『裏千家』受講生募集

日時 10月12日・10月26日・11月9日・11月23日・12月14日・12月27日・1月11日・1月25日・2月8日・2月22日の木曜日全10回 午後6時～8時
▼会場 しもだて地域交流センター・和室
▼募集人員 先着10

名程度
▼参加費 材料費10回分5,000円程度
▼申込開始 9月8日（金）午前9時～

■問い合わせ・申し込み
しもだて地域交流センター
交流推進係 TEL 23-1616

●地域交流・華道教室『午後の部・夜の部』受講生募集

【午後の部・草月流】日時 10月7日・10月22日・11月4日・11月11日・12月2日・12月16日・1月13日・1月27日・2月10日・2月24日の土曜日全10回 午後1時30分～3時30分
【夜の部・雪洲流】日時 10月6日・10月20日・11月10日・11月24日・12月1日・12月15日・1月12日・1月26日・2月9日・2月23日の金曜日全10回 午後6時～8時
▼会場 しもだて地域交流センター・クラブト室
▼募集人員 各先着20名程度
▼参加費 材料費10回分10,000円程度
▼申込開始 9月8日（金）午前9時～

■問い合わせ・申し込み
しもだて地域交流センター
交流推進係 TEL 23-1616

●甲種防火管理者資格取得（新規）講習会参加者募集

講習会日時 10月26日（木）・27日（金）
▼募集人員 180人
▼テキスト代 3,900円
▼受講料 500円
▼申込期間 9月25日（月）

知事と語ろう 『明日の茨城』参加者募集

県政について橋本知事と意見交換してみませんか。聞くだけでも最新の県政の動きがわかります。ぜひ応募してください。

■日時 = 10月23日(月) 午前10時~正午

■会場 = 筑西市コミュニティプラザ
(下館駅前スピカビル6階)

■対象 = 20歳以上の人

■応募方法 = はがき、FAX、Eメールのいずれかにて、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を明記して下記へ

■応募締切 = 9月29日(金)

問い合わせ・申し込み

県西地方総合事務所県民生活課
〒308-8510 筑西市二木成 615
TEL24-9074 FAX24-2357
seisokenmin@pref.ibaraki.lg.jp

10月1日(日)
問い合わせ・申し込み
筑西広域市町村圏事務組合消防本部
予防課 TEL24-4589

障害者のつどい参加者募集

▼開催期日 = 10月15日(日) ▼行程
= 東京湾ランチクルーズ・羽田空港第2旅客ターミナル見学 ▼対象者 = 市内の在宅障害者とその家族(1家族3人まで) ▼募集人員 = 先着90人 ▼費用 = 1人3,000円 ▼申し込み = 9月11日(月) 午前9時~9月20日(水) までに参加費および障害者手帳を持参のうえ、左記および各支所へ(電話不可、土・日は本所のみ)
■問い合わせ・申し込み
市社会福祉協議会 TEL22-3760

『異文化おしゃれ旅』参加者募集

▼開催期日 = 10月1日(日) ▼行き先 = 東京都日比谷『グローバルフェスタ JAPAN2006』に参加 ▼集合場所 = 結城市文化センター『アクロス』前 ▼出発時間 = 午前7時30分 ▼帰着予定 = 午後5時30分 ▼交通 = 大型貸切バス ▼募集人員 = 先着40人 ▼参加費 = 5,000円(小学生2,000円)
■問い合わせ・申し込み
ブリッジ21国際交流委員会
西城 TEL24-1666
saijo@bg.wakwak.com

相談

生活の困りごと相談

●ニート・ひきこもり支援大相談会
▼日時 = 9月16日(土) 午後1時30分~4時30分 ▼場所 = アルテリオ
▼対象者 = ニート、ひきこもりの当事者および保護者 ▼内容 = 個別相談、講演会など ▼参加申込 = 「若者自立塾栃木」または「若者サポートステーションいばらき」まで電話にて事前予約
▼参加費無料
■問い合わせ・申し込み
若者自立塾 栃木
TEL0285-6813928
若者サポートステーションいばらき
TEL029-85918606

*人権・行政・法律相談に応じます *費用=無料 *対象=市内在住の人
□人権相談 子ども(いじめや体罰)・女性(DV・セクハラ)・高齢者・障害者に対する人権問題や、夫婦・家庭内の問題、近隣トラブルなどの相談
□行政相談 国・県・市町村の行政サービスに関する苦情やご意見などを伺います。
□法律相談 金銭貸借・土地の境界・遺産相続・家庭問題など解決策を助言します。

| 区分 | 相談日時 | 相談会場 | 相談員 | 申し込み | 連絡 問い合わせ |
|------|---------------------|---------------|----------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 人権相談 | 9月28日(木) 午後1時~3時 | 市民会館 1階会議室 | 大 林 浩 堀 江 潔 (人権擁護委員) | 事前申込不要 (当日来訪順に受付) | 広報広聴課 広聴係 TEL24-2111 内線314 |
| 行政相談 | | | 行政相談委員 (総務大臣委嘱) | | |
| 法律相談 | | | 弁護士 | 9月19日(火) 午前9時~電話予約 (先着8人) | |

パートタイム労働ガイダンス・相談会

▼日時 = 9月12日(火) 午後1時30分~3時30分 ▼場所 = アルテリオ
▼内容 = パートタイムマナーのための知っておきたい労働知識・社会保険・税金などについて ▼対象 = パートタイムで就職を希望する人、現在働いている人
▼申込期限 = 9月11日(月) まで
■問い合わせ・申し込み
(財) 21世紀職業財団茨城事務所
TEL029-226-2413

お礼とご報告

【寄付金】 ▼福祉事業基金へ = 佐藤茂様(十軒町) 100,000円
【善意銀行】 ▼市社会福祉協議会へ = 奥澤裕二様(西町) 50,000円 / ゆうき動物病院様 5,000円 / 匿名16,300円 / 甦る青春の日々・マイインド40・クラッシュャーズ様48,273円 / 福祉サークルコサト様 タオル ▼市中心障害者福祉センターへ = グランド麗都駅前様 お菓子(段ボール1箱)

今月の納税

固定資産税 (3期)
都市計画税 (3期)
国民健康保険税 (4期)

納期限 / 10月2日(月)

納税に便利な口座振替をご利用ください。手続きは、金融機関の届出印を持参のうえ、市収税課又は市内の金融機関・郵便局へ

☎ 収税課管理係(内444)

筑西市環境美化 リサイクル作品コンクール

ごみの減量化に取り組んでいる筑西市では、次世代を担う子どもたちに、ものの大切さや資源の有効利用について考えてもらおうと、『環境美化リサイクル作品コンクール』を開催しました。今年はポスター部門に小学生340点、中学生76点、標語部門には小学生380点、中学生114点の応募がありました。最優秀賞に選ばれた作品を紹介します。(敬称略)

ポスター部門



最優秀賞 柳 まどか (関城中3年)

優秀賞

飯山皓平 (協和中2年) 中川美花 (下館南中1年)
小池美紗都 (下館中2年) 小野村珠希 (明野中2年)
国府田一輝 (下館北中1年)



最優秀賞 鈴木 美優 (村田小1年)

優秀賞

野沢光希 (五所小3年) 新井佑輔 (中小2年)
関亦 優 (関城東小2年) 黒木捷竜 (上野小3年)
小出拓魅 (小栗小1年)



ハイビスカスの一種であるレッドフラミンゴ。別名エル・カビトリオとも呼ばれ、2段咲きの大きな花をつけます。

小貝川大水害から20年の節目として開催された「防災・減災フォーラム」。情報収集と事前の備えが最も大切と呼びかけた。本格的な台風シーズンを前に、家族の集合場所や非常時の持出品などもう一度確認したい。備えあれば憂いなし。(ま)

小学生
高学年



最優秀賞 増田 有麻 (伊讀小6年)

優秀賞

長尾周平 (川島小4年) 小菅成美 (養蚕小6年)
飯塚まゆ (上野小6年) 飯村 優 (新治小5年)
佐野亜希子 (小栗小6年)

標語部門

あきかんころりんリサイクル
へんしんしたら またあえる

最優秀賞

高橋晃希 (大村小1年)

優秀賞

飯島兼三 (竹島小3年) 川崎史誠 (村田小3年)
大山綾介 (竹島小2年) 荒井七海 (下館小2年)
古谷野なつみ (河間小1年)

小学生
低学年

今日のエコ

明日の地球をささえてる

最優秀賞

坂入清花 (大田小6年)

優秀賞

廣岡夏美 (古里小6年) 藤間崇弘 (養蚕小6年)
坂入友弥 (中小5年) 大和田詩織 (竹島小5年)
菅野美優 (下館小4年)

小学生
高学年

捨てないで

私は還る 場所がある

最優秀賞

増田めぐみ (下館南中2年)

優秀賞

小島 眸 (下館北中1年) 高橋麻衣 (協和中1年)
岩本和之 (関城中1年) 吉田哲大 (下館西中3年)
齋藤 彩 (明野中3年)

中学生

特別賞

～下館地区資源リサイクル協会会長・関城地区ごみ減量会議会長・クリーンアップあけの会長・協和リサイクル事業代表4氏による選出～

野沢緋奈子 (伊讀小3年・ポスター部門) 中島 遙 (鳥羽小5年・ポスター部門)
高橋満理奈 (下館中1年・標語部門)

編集後記

最近の子どもの名前が個性的である。生涯で何回呼ばれるか、その膨大な回数を考えると気が遠くなる。名前は自分の存在と他者をつなぐ架け橋。フリガナが無いと読めないなど、子どもに不便を感じさせない思いやりも名づけのポイントである。(も)

市民記者に同行して、献血の取材へ。写真も撮り終えたところ、協和ライオンズクラブの皆さんから「せっかくだから」と声をかけられ、久しぶりに献血しました。献血は助け合い、血液を必要としている人がいます。みんなさんもぜひ、ご協力を。(8)